

DX推進企画書

株式会社上原園
2024年10月制定

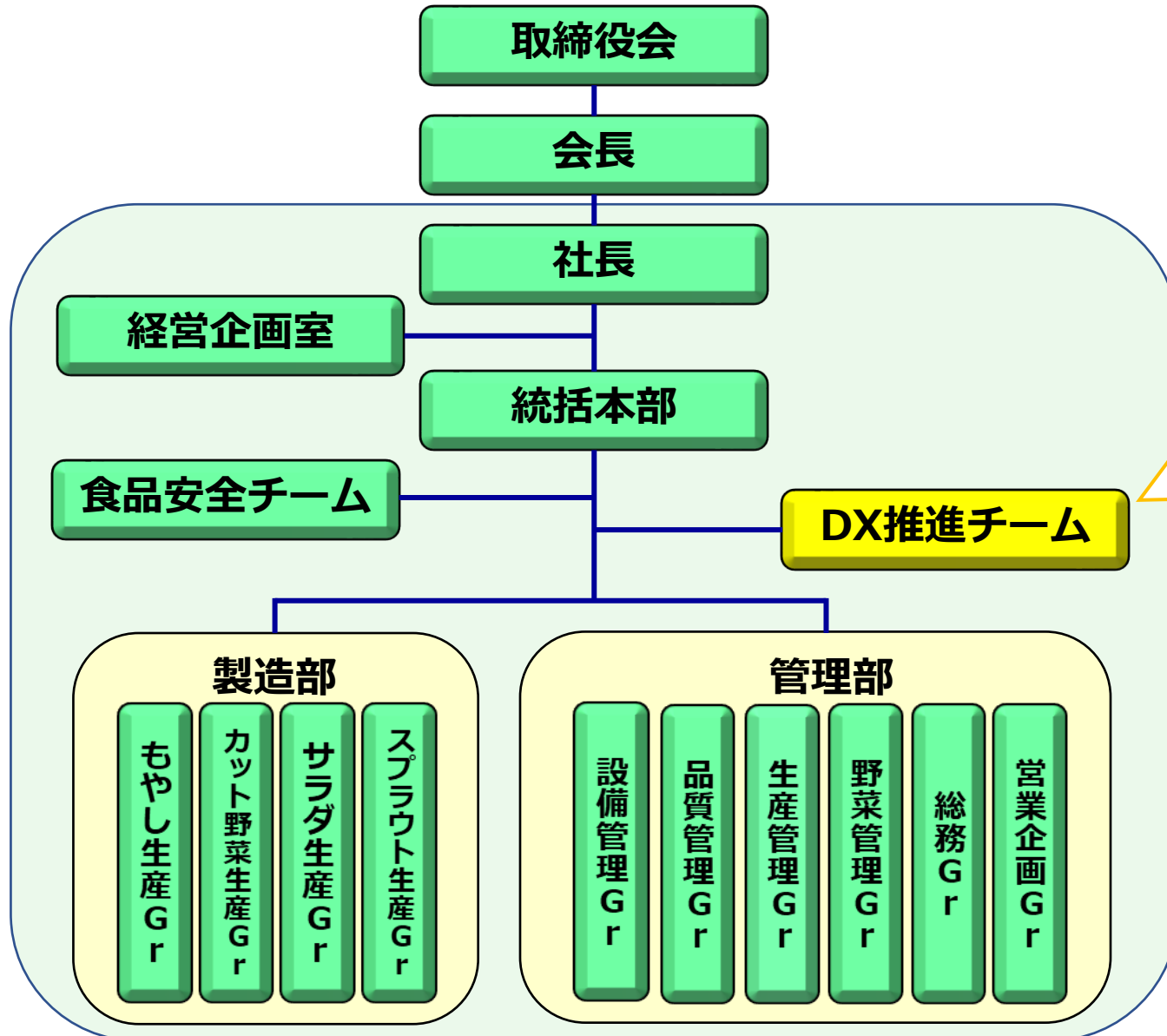
目次

1. DX推進ビジョン
2. DX化推進体制
3. DX推進シナリオ（将来的なDX戦略）
4. 現在の取り組み 将来の戦略
5. セキュリティ対策
6. おわりに

1.DX推進ビジョン

私たちは「野菜を通じお客様の課題を解決し、感動を提供するブランド企業への進化」を企業ビジョンとし、DX推進を強化することで、時代の変化に対応できる体制および会社全体での改善・変革意識を持った風土づくりを行い、より健康な食生活を提供し続けられる企業を目指します。

2.DX推進体制



推進部隊は
DX推進チームとする

↓

DX推進スキル標準を
満たす人材の育成

全ての人材に
DXリテラシー標準を浸透

3.DX推進シナリオ（将来的なDX戦略）

短期

2024~2025

- VBA、RPA(UiPath)の活用によるPC作業の効率化
- BIツール（Looker Studio）の活用によるデータの分析、可視化
- アプリ開発ソフトの活用（Google app sheetなど）
- ペーパーレス推進（帳票類のデジタル化）

中期

2025~2028

- 基幹システムの最適化（販売管理システム、生産管理システム）
- SDGsへの取組との連携
- AI技術導入に向けた体制構築

長期

2028~

- AI技術の導入による業務の最適化、新たな価値の創出
- 製造現場の自動化推進（協働ロボット等の導入検討）
- RPA導入支援サービスの開始

4.現在の取り組み/将来の戦略（短期）

1. VBA、RPA（UiPath）の活用

- ・ 業務グループ 販売データ受注の自動化
- ・ 総務グループ 請求書作成発行業務の自動化
- ・ 生産管理グループ 原料産地管理の自動化

2. BIツールによるデータの可視化、活用

- ・ RPAによって自動集計したデータの活用
- ・ リアルタイムでの監視による異常値の検知
- ・ 製造現場の改善活動へ展開

4.現在の取り組み/将来の戦略（中期）

基幹システムの最適化（販売管理/生産管理システム）

社内の基幹システムを最適化し、
変化への対応を継続的に行える体制構築を目指す。

- ・ ITシステム全体の「見える化」
- ・ DXの更なる加速化
- ・ 誰でも使えるシステム構築
- ・ 専門知識不要なITツールの選定
- ・ 組織再編⇒分散された業務の統合化

4.現在の取り組み/将来の戦略（長期）

AI技術の導入による業務の最適化、新たな価値の創出

- ・ 画像解析技術による不良品や異物の検知
- ・ 設備のモニタリングによる予知保全
- ・ 高精度な需要予測による廃棄ロス削減
- ・ サプライチェーン全体の最適化

製造現場の自動化推進

協働ロボット等の新しいツールの導入により、手作業ラインの自動化を推進し、生産性向上・作業負荷軽減・品質改善に繋げる

4.現在の取り組み/将来の戦略

各フェーズにおける具体的な指標

短期

RPA導入によるPC手動業務 **50%** 削減

紙使用量 **50%** 削減

中期

商品受注デジタル化による手入力業務 **80%** 削減

長期

製造現場の自動化ライン導入率 **70%** 実現

5.セキュリティ対策

弊社はより一層情報セキュリティ対策に取り組むため、**SECURITY ACTION(二つ星)**を宣言し、**情報セキュリティの向上に取り組んで参ります。**

弊社の事業を安全かつ継続的に行うため、**「情報セキュリティ基本方針」**を定め、**これを徹底いたします。**



セキュリティ対策自己宣言

おわりに

株式会社上原園では、

「生きていく上でもっとも大切な食を通じて、

一人でも多くの人たちに感謝と誠意をもって、

より健康な食生活を提供する企業になる」

ことを使命とし、その使命を果たすべく、

企業成長戦略の一環としてDX推進を継続的に実施致します。

より良い品質、より良いサービスを提供し続けられるよう、

誠心、誠意を持って行動して参りますので、

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社上原園

代表取締役社長 岡部 一法